三加和地区

菊水地区

――新しい時代を担う決意を胸に――

新成人者意見発表

新成人代表
仲田　博輝

本日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、このように盛大なすばらしい式典を開いていただき誠にありがとうございます。また、お祝いや激励の言葉をいただきました町長さまをはじめ、ご来賓の皆さま、ご出席賜りました方に新成人一同を代表いたしまして心よりお礼申し上げます。

さて、私たちも20歳という節目の年を迎えすでに社会人として職業についている者や夢に向かい勉学に励む者など立場はさまざまでありますが、これからは社会の一員として自分の行動に責任を持ち、成人として一歩ずつ前進していく覚悟であります。

「消防士になりたい」これは、私が幼い頃からの夢でした。

どんな危険にも立ち向かう強さと人に寄り添う優しさを持った消防士の姿に幼いながらも憧れを抱きました。18歳で受けた公務員試験。東京消防庁に合格した時はこれまで支えてくれた両親へ一番に報告しました。18年間生活した和水町の地を離れる事に戸惑いや不安もありましたが、両親は「自分で決めた道ならば、迷わず進みなさい」とそっと私の背中を押してくれました。初めて故郷を離れ、交通の便、人口も対照的な東京から和水町を見た時、自然の豊かさはもちろん、人の暖かさ、優しさを改めて感じました。そして何より、家族の大切さ、友の偉大さを感じました。今、私がこうして立派に仕事に従事できているのも家族、友人がいるからです。いつもありがとうございます。私には新たな夢があります。それは、特別救助隊員になることです。そして、いつか故郷に戻り、和水町に恩返しできればと考えています。少しでも力になれるよう、これからも努力を怠らず、邁進していく所存です。

本日、私たちがこうして集い、成人式を迎えることができたのも今まで大切に育ててくださった両親、家族、共に助け合い、支えあった友、文武ともに鍛えてくださった先生そして、いつも暖かく見守ってくださった地域の方々のおかげです。この感謝の気持ちを忘れず、たくましく、健やかに、睦まじく生きていくことを誓って新成人代表挨拶とさせていただきます。皆さん最後までご清聴ありがとうございました。

――大人の一歩を踏み出す――

新成人者意見発表

新成人代表
田中　悠花

本日は、成人の日に私たち新成人のためにすばらしい式典を催していただきまして、心よりお礼申し上げます。また、お祝いの言葉をいただきました町長さまをはじめご来賓の皆さま、ご出席を賜りました皆さま、誠にありがとうございます。

成人の節目を迎え、この20年間を振り返ってみますと、本当にあっという間でした。現在は、難しい学問ではありますが「法律」を学んでいます。また、20年間の中で人として未熟ではありましたが、集団生活を送る上での厳しさや人としての責任を学ぶことができたと思っています。

高校を卒業後、世の中のことを何も分からないまま社会に出ました。社会に出てから新しい人々に出会い、充実した生活を送っています。そんな中でよく実感するのは、家族をはじめ友人、地域の方々の存在や支えといったものにどれだけ恵まれていたのかということです。自立に向け、多くのことを自分自身の力で成し遂げることが増えましたが、時に不安にかられ辛いことなどをたくさん経験することもあります。しかしそんなときは、これまでたくさん注いでくださった温もりや暖かさを思い出して頑張って乗り越えることができています。これから社会を渡っていく中で、周りの方々のように誰かの支えになり、温もりを与えられるような人材を目指したいです。生まれ育ったこの「和水町」への感謝を忘れず、いつどこにいようとも町民の一人として和水町の発展を願い、日々を送っていきたいと思います。

さて今年は「平成」から「令和」へと大きな改元の年を迎え、天皇陛下のご退位および皇太子殿下のご即位も行われ喜ばしい出来事がありました。しかし、それと同時に、世の中では平成の時代に終わることなく、大きな自然災害や犯罪の増加、外交関係の悪化といった悲しい出来事もたくさん起こった年でもあります。そんな中で将来を担っていく上で、私たちは社会人としての「責任」を背負って生きていかなければなりません。もちろん、一人の人間なのでくじけることもあると思います。でも、周りの人々の存在を忘れず、希望を持って生きてください。すべてに感謝をし、命の大切さを忘れずに日々を送っていきましょう。

最後になりましたが、本日成人を迎えた私たちの門出をご祝福いただき重ねて感謝申し上げます。社会人の一人として責任ある行動を心がけ、社会に貢献できる大人になることを誓い新成人代表挨拶とさせていただきます。